

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
評価測定法演習Ⅰ		理学療法科／2年	2024／後期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位（15時間）	必須	兼八 勇治（実務経験有）
授 業 の 概 要				
評価測定法で学習した内容を病院・施設に出向き、患者様、利用者を対象に演習を行い、レジュメ作成までの過程を学ぶ。臨床実習のブレ実習として行う。 【実務経験】病院、施設、学校				
授業終了時の到達目標				
疾患を有する方に対して検査測定ができるようにする。 また、問題点を抽出し統合と解釈までをレジュメ作成から学ぶ。				
回	テ ー マ	内 容		
1	オリエンテーション	講義		
2	症例準備①	講義、スライド		
3	症例準備②	講義、スライド		
4	症例評価①	外部実習		
5	症例評価②	外部実習		
6	レジュメ作成①	講義、スライド		
7	レジュメ作成②	講義、スライド		
8	まとめ	講義、スライド		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
なし		演習評価 課題評価	50.0% 50.0%	

2	症例準備①	講義、スライド
---	-------	---------

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
評価測定法演習Ⅱ		理学療法科／3年	2025／前期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位（15時間）	必須	北野 剛士（実務経験有）

授 業 の 概 要

評価測定法で学習した内容を病院・施設に出向き、患者様、利用者を対象に演習を行い、レジュメ作成までの過程を学ぶ。臨床実習のプレ実習として行う。

【実務経験】病院

授業終了時の到達目標

疾患を有する方に対して検査測定ができるようにする。
また、問題点を抽出し統合と解釈までをレジュメ作成から学ぶ。

回	テ ー マ	内 容
1	症例準備①	講義
2	症例準備②	講義、スライド
3	症例準備③	講義、スライド
4	症例評価①	外部実習
5	症例評価②	外部実習
6	レジュメ作成①	講義、スライド
7	レジュメ作成②	講義、スライド
8	まとめ	講義、スライド
教科書・教材		評価基準
なし		演習評価 課題評価
		評価率
		50.0% 50.0%
		その他

2	症例準備①	講義、スライド
---	-------	---------

科目名		学科／学年	年度／時期	授業形態
運動療法Ⅰ		理学療法科／2年	2024／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位（60時間）	必須	杉本 和彦（実務経験有）

授 業 の 概 要

人間の症状など障害に対し、医学ならびに運動治療学などの基礎理論を背景にした運動そのものを用いた方法を学ぶ。

〔実務経験〕 病院、学校

授業終了時の到達目標

運動療法に必要な知識と技術を習得し、臨床で実施する基本的な運動療法手技について学習する。

回	テ ー マ	内 容		
1	運動療法の概念①	講義		
2	運動療法の概念②	講義		
3	運動療法の基礎	講義		
4	運動療法の基礎	講義		
5	〃	講義		
6	〃	講義		
7	〃	講義		
8	〃	講義		
9	〃	講義		
10	〃	講義		
11	〃	講義		
12	〃	講義		
13	〃	講義		
14	〃	講義		
15	〃	講義		
16	〃	講義		
17	組織の病態生理と修復	講義		
18	〃 ②	講義		
19	〃 ③	講義		
20	〃 ④	講義		
21	組織の病態生理と修復（神経系）①	講義		
22	〃 ②	講義		
23	〃 ③	講義		
24	〃 ④	講義		
25	運動の種類①	講義		
26	〃 ②	講義		
27	まとめ①	講義		
28	〃 ②	講義		
29	試験	試験		
30	解説	講義		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・ 吉尾雅春 編集『標準理学療法学 専門分野 運動療法学総論』医学書院.		期末試験	100%	

2	症例準備①	講義、スライド
---	-------	---------

科目名		学科／学年	年度／時期	授業形態
運動療法Ⅱ		理学療法科／2年	2024／後期	講義・演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位（60時間）	必須	松本、兼八、川崎

授業の概要

人間の症状など障害に対し、医学ならびに運動治療学などの基礎理論を背景にした運動そのものを用いた方法を学ぶ。また、疾患別、障害別の運動療法の基本的理解を深めていく。

〔実務経験〕 病院、施設、学校

授業終了時の到達目標

本授業では、運動療法Ⅰ（基礎）の内容を再確認すると共に、疾患別、障害別の運動療法の基本的理解を深めていくことを目的とする。

テ ー マ		内 容		
1	骨関節疾患の運動療法①	講義・演習		
2	骨関節疾患の運動療法②	講義・演習		
3	骨関節疾患の運動療法③	講義・演習		
4	骨関節疾患の運動療法④	講義・演習		
5	骨関節疾患の運動療法①	講義・演習		
6	骨関節疾患の運動療法②	講義・演習		
7	骨関節疾患の運動療法①	講義・演習		
8	骨関節疾患の運動療法②	講義・演習		
9	骨関節疾患の運動療法①	講義・演習		
10	骨関節疾患の運動療法②	講義・演習		
11	骨関節疾患の運動療法①	講義・演習		
12	骨関節疾患の運動療法②	講義・演習		
13	骨関節疾患の運動療法①	講義・演習		
14	骨関節疾患の運動療法②	講義・演習		
15	脳障害の運動療法①	講義・演習		
16	脳障害の運動療法②	講義・演習		
17	〃 ①	講義・演習		
18	〃 ②	講義・演習		
19	脳障害の運動療法①	講義・演習		
20	脳障害の運動療法②	講義・演習		
21	脳障害の運動療法①	講義・演習		
22	脳障害の運動療法②	講義・演習		
23	脳障害の運動療法①	講義・演習		
24	脳障害の運動療法②	講義・演習		
25	脳障害の運動療法①	講義・演習		
26	脳障害の運動療法②	講義・演習		
27	脊髄損傷の運動療法①	講義・演習		
28	脊髄損傷の運動療法②	講義・演習		
29	試験	試験		
30	解説	解説		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・ 吉尾雅春 編集『標準理学療法学 専門分野 運動療法学 各論』医学書院.		期末試験	100%	

2	症例準備①	講義、スライド
---	-------	---------

科目名		学科／学年	年度／時期	授業形態
物理療法		理学療法科／1年	2023／後期	講義・演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位（60時間）	必須	松本 昇（実務経験有）
授 業 の 概 要				
適切な物理療法が行えるよう各療法について、機器などの物理的特性、生体に及ぼす生理学的作用、効果と適応、手技、リスク管理などを中心に教授する。 【実務経験】病院、施設、学校				
授業終了時の到達目標				
適切な物理療法が行えるよう各療法について、機器などの物理的特性、生体に及ぼす生理学的作用、効果と適応、手技、リスク管理などを修得する。				
回	テ ー マ	内 容		
1	物理療法総論（定義・目的・歴史）	講義		
2	牽引療法（頸椎）	講義		
3	〃（腰椎）、CPM	講義		
4	牽引療法実習	演習		
5	水治療法	講義		
6	〃	講義		
7	寒冷療法 （一般寒冷療法、極低温療法）	講義		
8	〃 （コールドパック、アイスパック、冷浴、クリッカー）	講義		
9	寒冷による痙性抑制メカニズム	講義		
10	寒冷療法実習	演習		
11	光線療法（紫外線、赤外線）	講義		
12	〃 （レーザー、スーパーライザー）	講義		
13	光線療法実習	演習		
14	電気療法①	講義		
15	〃	講義		
16	電気診断	講義		
17	バイオフィードバックと運動学習	講義		
18	電気療法実習	演習		

2	症例準備①	講義、スライド		
19	マッサージ療法	講義		
20	マッサージ療法実習	演習		
21	スポーツマッサージ	講義・演習		
22	温熱療法①	講義		
23	温熱療法②	講義		
24	温熱療法実習①	演習		
25	温熱療法実習②	演習		
26	物理療法におけるリスク管理	講義		
27	疾患別物理療法プログラムの実際	講義		
28	総まとめ①	講義・演習		
29	総まとめ②	講義・演習		
30	試験・解説	試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・ 網本和 編著『標準理学療法学 専門分野 物理療法』医学書院. ・ 嶋田智明・高見正利 他編『物理療法マニ アル』医歯薬出版.		期末試験	100%	

2 症例準備①		講義、スライド		
科目名		学科／学年	年度／時期	授業形態
装具学		理学療法科／2年	2024／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位（30時間）	必須	今井 歩（実務経験有）
授業の概要				
装具に関する基本的事項を学習し、各種装具の特性と構造を紹介する。				
〔実務経験〕 義肢製作所勤務				
授業終了時の到達目標				
本講義では、適合、装着、操作指導の技術を習得することを目的とする。加えて臨床での装具選択のポイント、装具の構造と機能について学習する				
回	テーマ	内 容		
1	ガイダンス・装具療法総論	講義、スライド		
2	下肢装具1	講義、スライド		
3	下肢装具2	講義、スライド		
4	下肢装具3	講義、スライド		
5	下肢装具4	講義、スライド		
6	上肢装具1	講義、スライド		
7	上肢装具2	講義、スライド		
8	上肢装具3	講義、スライド		
9	上肢装具4	講義、スライド		
10	体幹装具1	講義、スライド		
11	体幹装具2	講義、スライド		
12	体幹装具3	講義、スライド		
13	体幹装具4	講義、スライド		
14	まとめ	講義、スライド		
15	試験	試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
加倉井周一 編『装具学』医歯薬出版. 加倉井周一・初山泰弘・渡辺英夫 編『装具治療マニュアル』医歯薬出版.		期末試験	100.0%	期末試験にて評価します

2	症例準備①	講義、スライド
---	-------	---------

科目名		学科／学年	年度／時期	授業形態
理学療法治療学Ⅰ		理学療法科／2年	2024／後期	講義・演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位（60時間）	必須	杉本 はるか（実務経験有）

授業の概要

各疾患を理解した上で治療に対する考え方、リスク管理について学んでいく。

【実務経験】施設勤務

授業終了時の到達目標

本授業は、整形外科を中心とした疾患の理学療法について学習する。実際の臨床において必要とされる評価、理学療法アプローチ、リスク管理について学習し、実践できることを目指す。

回	テ　　マ	内　　　　容		
1	骨折①	講義、演習、実技		
2	骨折②	講義、演習、実技		
3	高齢者の骨折①	講義、演習、実技		
4	高齢者の骨折②	講義、演習、実技		
5	腰痛症・腰椎椎間板ヘルニア①	講義、演習、実技		
6	腰痛症・腰椎椎間板ヘルニア②	講義、演習、実技		
7	側弯症	講義、演習、実技		
8	変形性股関節症（THA術後療法）①	講義、演習、実技		
9	変形性股関節症（THA術後療法）②	講義、演習、実技		
10	変形性股関節症（THA術後療法）③	講義、演習、実技		
11	変形性膝関節症（TKA術後療法）①	講義、演習、実技		
12	末梢神経損傷（顔面神経麻痺）①	講義、演習、実技		
13	末梢神経損傷（顔面神経麻痺）②	講義、演習、実技		
14	末梢循環障害①	講義、演習、実技		
15	末梢循環障害②	講義、演習、実技		
16	頸肩腕症候群（肩関節周囲炎を含む）①	講義、演習、実技		
17	頸肩腕症候群（肩関節周囲炎を含む）②	講義、演習、実技		
18	スポーツ外傷、ACL　半月板損傷①	講義、演習、実技		
19	スポーツ外傷、ACL　半月板損傷②	講義、演習、実技		
20	関節リウマチ①	講義、演習、実技		
21	関節リウマチ②	講義、演習、実技		
22	胸郭出口症候群・乳がん（手術後）①	講義、演習、実技		
23	胸郭出口症候群・乳がん（手術後）②	講義、演習、実技		
24	頸椎・腰椎術後療法①	講義、演習、実技		
25	頸椎・腰椎術後療法②	講義、演習、実技		
26	熱傷	講義、演習、実技		
27	切断と義肢①	講義、演習、実技		
28	切断と義肢②	講義、演習、実技		
29	試験	試験		
30	解説	解説		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
細田多穂・柳澤健　編集『理学療法ハンドブック（改訂第3版）』協同医書出版社.		期末試験	100.0%	筆記試験によって判断

2	症例準備①	講義、スライド
---	-------	---------

科目名		学科／学年	年度／時期	授業形態
理学療法治療学Ⅱ		理学療法科／2年	2024／後期	講義・演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位（60時間）	必須	竹村 繭美（実務経験有）

授業の概要

本授業では、脳血管障害を中心とした中枢神経疾患の理学療法について学ぶ。

【実務経験】病院・学校勤務

授業終了時の到達目標

- 1) 脳血管障害・パーキンソン病の臨床像(病態・画像診断・治療を含む)を説明することができる。
- 2) 脳血管障害・パーキンソン病に対する理学療法評価を行うことができる。
- 3) 脳血管障害・パーキンソン病患者の基本動作の分析と誘導を行うことができる。
- 4) 脳血管障害・パーキンソン病の各病期に応じた基本的理学療法を実施することができる。

回	テーマ	内 容
1	脳血管障害概論1	講義、実技、演習
2	脳血管障害概論2	講義、実技、演習
3	脳血管障害概論3	講義、実技、演習
4	脳血管障害の臨床像	講義、実技、演習
5	脳血管障害に対する評価概論1	講義、実技、演習
6	脳血管障害に対する評価概論2	講義、実技、演習
7	脳血管障害:臥位レベルの評価と治療1	講義、実技、演習
8	脳血管障害:臥位レベルの評価と治療2	講義、実技、演習
9	脳血管障害:臥位レベルの評価と治療3	講義、実技、演習
10	脳血管障害:臥位レベルの評価と治療4	講義、実技、演習
11	脳血管障害:座位レベルの評価と治療1	講義、実技、演習
12	脳血管障害:座位レベルの評価と治療2	講義、実技、演習
13	脳血管障害:座位レベルの評価と治療3	講義、実技、演習
14	脳血管障害:座位レベルの評価と治療4	講義、実技、演習
15	脳血管障害:立位レベルの評価と治療1	講義、実技、演習
16	脳血管障害:立位レベルの評価と治療2	講義、実技、演習
17	脳血管障害:歩行の評価と治療1	講義、実技、演習
18	脳血管障害:歩行の評価と治療2	講義、実技、演習
19	下肢装具の復習と歩行分析1	講義、実技、演習
20	下肢装具の復習と歩行分析2	講義、実技、演習
21	下肢装具の復習と歩行分析3	講義、実技、演習
22	肩の問題と摂食嚥下の問題について	講義、実技、演習
23	高次脳機能障害に対するアプローチ1	講義、実技、演習
24	高次脳機能障害に対するアプローチ2	講義、実技、演習
25	高次脳機能障害に対するアプローチ3	講義、実技、演習
26	脳卒中ガイドラインについて	講義、実技、演習
27	パーキンソン病の病態・臨床像概論1	講義、実技、演習
28	パーキンソン病の病態・臨床像概論2	講義、実技、演習
29	パーキンソン病に対する理学療法1	講義、実技、演習
30	パーキンソン病に対する理学療法2	講義、実技、演習

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
「リハ実践テクニック 脳卒中」 「神経筋障害理学療法テキスト」 病気がみえる「脳・神経」	期末試験	100.0%	筆記試験によって判断。

2	症例準備①	講義、スライド
---	-------	---------

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
理学療法治療学Ⅲ		理学療法科／2年	2024／後期	講義・演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位（30時間）	必須	川崎 明浩（実務経験有）
授 業 の 概 要				
脊髄損傷患者の臨床症状や障害の状態を学び、頸髄損傷による四肢麻痺患者、胸腰髄損傷によつて麻痺患者に対する評価、理学療法を学ぶ。 【実務経験】 病院、学校				
授業終了時の到達目標				
1）脊髄障害による各種の臨床症状や障害の状態を理解する。 2）四肢麻痺患者に対する急性期・回復期の理学療法の意味と目的、基本的な理学療法の方法を理解する。 3）対麻痺患者に対する急性期・回復期の理学療法の目的と介入方法について理解する。 4）脊髄損傷が社会参加するための生活環境整備の工夫を知り、生活機能向上のための理学療法を理解する。				
回	テ ー マ	内 容		
1	脊髄損傷の病態 1	講義、演習		
2	脊髄損傷の病態 2	講義、演習		
3	頸髄損傷（四肢麻痺）の評価 1	講義、演習		
4	頸髄損傷（四肢麻痺）の評価 2	講義、演習		
5	頸髄損傷（四肢麻痺）の治療 1	講義、演習		
6	頸髄損傷（四肢麻痺）の治療 2	講義、演習		
7	頸髄損傷（四肢麻痺）の治療 3	講義、演習		
8	胸腰髄損傷（対麻痺）の評価 1	講義、演習		
9	胸腰髄損傷（対麻痺）の評価 2	講義、演習		
10	胸腰髄損傷（対麻痺）の治療 1	講義、演習		
11	胸腰髄損傷（対麻痺）の治療 2	講義、演習		
12	胸腰髄損傷（対麻痺）の治療 3	講義、演習		
13	頸椎症性脊髄症の評価と治療	講義、演習		
14	OPLLの評価と治療	講義、演習		
15	期末試験	試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
細田多穂 監修 シンプル理学療法学シリーズ神経筋障害理学療法学テキスト		期末試験	100.0%	

2	症例準備①	講義、スライド
---	-------	---------

科目名		学科／学年	年度／時期	授業形態
理学療法治療学Ⅳ		理学療法科／2年	2024／後期	講義・演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位（60時間）	必須	森下正憲、小西大海 （実務経験有）

授業の概要

罹患率が高い内部障害疾患に関して、成因、症状の理解を基に理学療法的治療アプローチを講義、実技を元に学ぶ。【実務経験】病院、学校

授業終了時の到達目標

循環器および呼吸器、代謝系疾患の理学療法が行えるようになるため、必要な知識を身につけることを目的とする。具体的には、生活習慣病患者の増加とともに急増している狭心症や心筋梗塞を始めとする循環器系疾患や呼吸器疾患、糖尿病などの代謝系疾患の理学療法について学ぶ。これらの疾患は、理学療法中に生命にかかわる場合もあり、正しい知識の習得が重要である。そのため、病態の理解、測定・検査法と評価法、目標設定と理学療法の治療計画、リスク管理、治療効果など、理学療法の基本原則と

回	テ　　マ	内　　　　　容	担当教員	
1	オリエンテーション	講義、演習、実技	森下	
2	循環器疾患①	講義、演習、実技	小西	
3	循環器疾患②	講義、演習、実技	小西	
4	循環器疾患③	講義、演習、実技	小西	
5	循環器疾患④	講義、演習、実技	小西	
6	循環器疾患⑤	講義、演習、実技	小西	
7	循環器疾患⑥	講義、演習、実技	小西	
8	呼吸器疾患①	講義、演習、実技	小西	
9	呼吸器疾患②	講義、演習、実技	小西	
10	呼吸器疾患③	講義、演習、実技	小西	
11	呼吸器疾患④	講義、演習、実技	小西	
12	呼吸器疾患⑤	講義、演習、実技	小西	
13	呼吸器疾患⑥	講義、演習、実技	小西	
14	消化器疾患①	講義、演習、実技	森下	
15	消化器疾患②	講義、演習、実技	森下	
16	消化器疾患③	講義、演習、実技	森下	
17	消化器疾患④	講義、演習、実技	森下	
18	消化器疾患⑤	講義、演習、実技	森下	
19	肝・胆疾患①	講義、演習、実技	森下	
20	肝・胆疾患②	講義、演習、実技	森下	
21	肝・胆疾患③	講義、演習、実技	森下	
22	肝・胆疾患④	講義、演習、実技	森下	
23	泌尿器疾患①	講義、演習、実技	森下	
24	泌尿器疾患②	講義、演習、実技	森下	
25	泌尿器疾患③	講義、演習、実技	森下	
26	生殖器疾患①	講義、演習、実技	森下	
27	生殖器疾患②	講義、演習、実技	森下	
28	生殖器疾患③	講義、演習、実技	森下	
29	総まとめ	講義、演習、実技	森下	
30	試験	筆記試験	小西	
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・『標準理学療法学・作業療法学 専門分野 内部障害理学療法学』医学書院 ・病気がみえる 1 消化器 MEDIC MEDIA ・病気がみえる 2 循環器 MEDIC MEDIA ・病気がみえる 3 糖尿病・代謝・内分泌 MEDIC MEDIA ・病気がみえる 4 呼吸器 MEDIC MEDIA ・病気がみえる 8 腎・泌尿器 MEDIC MEDIA		確認テスト	50%	
		期末試験	50%	

2 症例準備①		講義、スライド		
科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
理学療法治療学Ⅴ		理学療法科／2年	2024／後期	講義・演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位（30時間）	必須	西潟 央（実務経験有）
授 業 の 概 要				
代表的な神経筋疾患について成因、症状の理解を基に理学療法的治療アプローチを講義、実技を元に学ぶ。 【実務経験】病院、学校				
授業終了時の到達目標				
1) 小脳性運動失調に対する理学療法の基本的な考え方と実際について理解する。 2) 神経難病の特性をふまえたうえで、それぞれの病態を理解する。 3) 神経難病の進行状況を把握するための病態評価方法や理学療法のあり方を理解する。				
回	テ ー マ	内 容		
1	運動失調（症）の定義と分類	講義、演習		
2	小脳性運動失調症の病態と症状	講義、演習		
3	小脳変性疾患の特徴	講義、演習		
4	小脳性運動失調の評価	講義、演習		
5	小脳性運動失調の理学療法 1	講義、演習		
6	小脳性運動失調の理学療法 2	講義、演習		
7	多発性硬化症の病態と症状	講義、演習		
8	多発性硬化症の評価	講義、演習		
9	多発性硬化症に対する理学療法	講義、演習		
10	ALSの病態と症状	講義、演習		
11	ALSの評価	講義、演習		
12	ALSに対する理学療法	講義、演習		
13	多発性筋炎について	講義、演習		
14	重症筋無力症について	講義、演習		
15	試験	試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
病気がみえる「脳・神経」 細田多穂 監修 シンプル理学療法学シリーズ神経筋障害理学療法学テキスト		期末試験	100.0%	

2	症例準備①	講義、スライド
---	-------	---------

科目名		学科／学年	年度／時期	授業形態
理学療法治療学Ⅵ		理学療法科／2年	2024／後期	講義・演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位（30時間）	必須	杉本 和彦（実務経験有）
授業の概要				
・脳性麻痺、筋ジス、二分脊椎、発達障害などの病態、症状を学ぶ。 ・脳性麻痺、筋ジス、二分脊椎、発達障害などの評価と理学療法について学ぶ。 【実務経験】 病院・学校				
授業終了時の到達目標				
1) 脳性麻痺の病態・臨床像を理解する 2) 脳性麻痺児・者に対する理学療法の評価と治療の概略を理解する 3) 筋ジス・二分脊椎・発達障害の臨床像と理学療法について理解する 4) 正常発達、小児理学療法に関する知識を復習し、国家試験レベルの課題は8割以上理解することができる				
回	テーマ	内 容		
1	脳性麻痺に対する評価概論	講義、演習		
2	脳性麻痺に対する評価 （ビデオ分析を通じて）1	講義、演習		
3	脳性麻痺に対する評価 （ビデオ分析を通じて）2	講義、演習		
4	脳性麻痺に対する評価 （ビデオ分析を通じて）3	講義、演習		
5	脳性麻痺に対する治療の考え方 （ビデオ分析を通じて）1	講義、演習		
6	脳性麻痺に対する治療の考え方 （ビデオ分析を通じて）2	講義、演習		
7	脳性麻痺に対する治療の考え方 （ビデオ分析を通じて）3	講義、演習		
8	脳性麻痺に対する治療の考え方 （ビデオ分析を通じて）4	講義、演習		
9	重症心身障害児・者に対する理学療法について1	講義、演習		
10	重症心身障害児・者に対する理学療法について2	講義、演習		
11	筋ジストロフィーの理学療法について1	講義、演習		
12	筋ジストロフィーの理学療法について2	講義、演習		
13	二分脊椎の理学療法について	講義、演習		
14	小児の整形疾患について	講義、演習		
15	発達障害について	講義、演習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
河村 光俊 著『小児の理学療法』医歯薬出版。 今川忠男『脳性麻痺児の24時間姿勢ケア』三輪書店。		期末試験	100.0%	筆記試験によって判断。